

●「スキーって、スマホより楽しい！」

先週、待ちに待ったスキー教室に行ってきました。ほとんどの生徒にとって、初めてのスキー。そして、中学校生活初めての宿泊行事。3学期が始まると、毎日のように、スキー教室について話題にしている生徒の姿が見られ、期待が高まっていることが伝わってきました。



開校式では、学年主任から「皆が笑顔になれる3日間、気付いたら成長していたなという3日間にしましょう。ただし、集団生活ですから、ちょっとした我慢や、仲間との譲り合いを忘れずに」という話をしました。「笑顔になれる3日間」については、達成できました。同行した看護師さんから聞いた話ですが、生徒の一人が、「スキーってスマホより楽しい！」と言っていたというのです。小さな電子画面ではなく、大自然の中に、大きな喜びや楽しみを見出してくれたこと、本当にうれしく思います。

「ちょっとした我慢」については、中学校生活の1年目、まだまだ不十分であるという課題が見えてきました。自分のことだけでなく、身近な友達のことはもちろん、目に見えないところで自分を支えてくれている人の存在に、いつ、目を向けられるようになるのでしょうか。それができれば、「ちょっとした我慢」は「苦痛を伴う我慢」ではなく、「自分を支えてくれる人たちへの愛のある配慮」となるのですが…。

保護者の皆さまには、初日は朝早い時間からお弁当の準備、ありがとうございました。これからも、学年の職員一同、様々な方法で、子どもたちに良い働きかけをしていきたいと思えます。

●生徒の作文より

「スキー教室を終えて」

自分は2泊3日のスキー教室を終えて1つ分かったことがありました。それは、自信をもつことの大切さです。実習の初日、上手にすべれず自信を失ってしまい、初日の夜寝るとき、とても不安な気持ちになってしまいました。けれども、2日目の実習で最初は転んで始まったものの、初日と比べてコツをつかんで少し自信がもてるようになりました。最終日の3日目には、自分でコントロールできて余裕をもって滑ることができたのです。まわりの友達からも上手だと言われて、一度も転ばずにスキー実習を終えることができました。分からないことがあったり、転んでいる友達を見てアドバイスをしたり、手助けができることまで成長できたのです。

宿舎での生活でも友達とゲームをして楽しんだり、ご飯を皆で食べたり、全体を通して自分はこの実習のおかげでスキーが好きになることができたと思えました。

「スキー教室に行ってみて」

スキー教室に行ってきた、私が一番楽しかったことは、クラスの人とその他の人たちと3日間過ごしたことです。理由は、普段だったら話さない子とも話したり、一緒に遊んだりすることができたからです。

がんばったことは、係の仕事と、スキーをたくさんやったことです。理由は、呼びかけとか、班の人の体調を気かけたり、健康観察の呼びかけを忘れずにできたからです。2つ目のことは、しっかりたくさん練習してその日の振り返りをして、次に生かせるように試行錯誤したからです。

私は、最初の方はスキーが苦手でいやだったのですが、この3日間でたくさんスキーをしてがんばってやったから最後は楽しくやって終わることができてよかったです。

